

## JR連合 第31回定期大会開催

### JRの代表産別として 新年度の運動方針を 満場一致で決定！

JR連合は6月16日(水)、愛知県豊橋市「ホテルアソシア豊橋」において、メインスローガンに「組織の総力をあげてこの難局を乗り越え『JR連合ビジョン』の実践と将来を見据えた政策活動の推進によりJR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう！」の幸せを実現しよう！

武智執行委員(本部執行委員)を選出しスムーズな議事進行が図られた。



大会議長を務めた武智執行委員

JR連合執行部を代表して挨拶に立った荻山会長は、コロナ禍において果敢に緊急政策課題への対応に取り組みできたことに触れた上で、安全の確立とポストコロナ時代の運動の展開に重点を置いた挨拶を行った。特にポストコロナ時代の運動の展開については、本大会で運動の羅針盤となる政策提言「将来を



JR連合 荻山会長

見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方(以下、「新提言」)を提起することから、産業政策と労働政策の両面で能動的に議論をリードする決意を明らかにした。

また、神津連合会長やJR連合国会議員懇談会に所属する小川淳也衆議院議員、広田一衆議院議員などから激励と連帯のビデオメッセージが寄せられた。議事では、執行部より一般経過報告・決算、2021年度運動方針案及び予算案が提起された後、学識経験者3名から講演が行われた。その後の質疑討論で



退任する中村執行委員

(JR西労組)、森安執行委員(JR四国労組)、鎗光執行委員(JR九州労組)が選出され、新たな体制を確立した。

最後に、荻山会長による団結ガンバローで定期大会を締めくくり新年度へのスタートを切った。

◆政策課題の解決に向けた取り組みを通して、「JR連合ビジョン」にもある通り今こそ労働組合だからできることがあると強く発信し、明るい未来を切り拓く決意である。

森安代議員  
発言要旨



宇治橋  
特別代議員  
発言要旨



### メインスローガン

組織の総力をあげてこの難局を乗り越え  
「JR連合ビジョン」の実践と  
将来を見据えた政策活動の推進により  
JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう！

### サブスローガン

1. 「安全は絶対に譲らない」という信念の下、職場から安全衛生活動を推進し「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を実現しよう！
2. 「JR連合ビジョン」の実践を通じて魅力と信頼のある組織を築きJR産業に働くすべての仲間のJR連合への総結集をめざそう！
3. 労使をあげて緊急政策課題の解決に努めるとともに、持続的成長と社会的使命を両立できるJR産業の構築に向けて取り組もう！
4. 安心して働き続けられる職場環境を整備し、「中期労働政策ビジョン」で掲げた働き方を実現しよう！
5. 私たちが求める政策の実現に向け、来る衆議院選挙、参議院選挙、そして地方選挙の勝利へ全力をあげよう！

その後、執行部の答弁と尾形事務局長による総括答弁を経てすべての議案が満場一致で採択された。

役員改選では、尾形事務局長(JR東海ユニオン)、今井執行委員(JR東海ユニオン)、中山執行委員(JR西労組)、中村執行委員(JR四国労組)、北村執行委員(JR九州労組)が退任し、荻山会長(JR西労組)が再任されるとともに、政所事務局長(JR東海ユニオン)、相良執行委員(JR東海ユニオン)、宮野執行委員

◆安全の確立に向け、労働組合としてのチェック・提言機能を強化し、現場の声に基づき先手を打って労使協議を行い、安全最優先の企業風土を作る。

◆政策課題の解決について、この間のJR連合の取り組みに感謝を申し上げる。将来の経営自立に向け、JR四国労組としても変化を恐れず、前に向かってチャレンジしていく。

◆今大会で提起された政策提言に賛同し、退職まで生き活きと働くことができる会社の実

◆この間の命綱である雇用調整助成金に関する関係省庁等への要請行動や、ふれあいキャンペーンの展開などに対し御礼を申し上げます。

◆コロナ収束後には、離職問題の再燃、ニューノーマルに対応した企業運営に対する課題も考えられる。引き続き、グループ労組連絡会の活動を通じてすべてのグループ単組の支援につながる取り組みや情報共有をお願いしたい。

# 「ジェイアール四国バス」 夏季賞与支給困難も 「特別一時金」支給の回答を引き出す

ジェイアール四国バスとの夏季賞与交渉は、6月8日の1回目の交渉に続き、6月21日に2回目の交渉を行った。

1回目の交渉において組合は、「新型コロナウイルス感染症の長期化により、会社を取り巻く経営環境が厳しい状況にあることは理解するものの、組合員は今日まで『安全・安心輸送の確立』を第一義に、効率化施策や経費削減施策に最大限協力してきた。また、公共輸送機関として働く者の責任

感と使命感を持ち、感染防止に努めながらそれぞれの職場で奮闘している。その取り組みを最大限評価し、会社を支えている組合員の労苦に報いるためにも誠意ある回答を要請する」と粘り強く訴えた。

これに対し会社側は、「当社を取り巻く経営環境はコロナ禍により、2020年度は過去最大の赤字決算となった。また、今年度においても収入が回復する状況には至っておらず、極めて厳しい経営状況を継続している。現時点での収支状況を勘案すると、夏季賞与の支給については慎重に検討せざるを得ない」との厳しい姿勢を崩さなかった。

その結果、6月21日の2回目の交渉において会社側より、「夏季賞与については、会社業績、収支状況、今後の経営見通し等を総合的に勘案すると、支給は困難である。しかし、組合の要求主旨やこの間の『安全・安心輸送』に対する取り組み等を総合的に勘案した結果、現段階における一杯の判断をし、今回限りの特別措置として特別一時金を支給するとの回答が示された。

交渉終了後、業務対策委員会を開催し検討した結果、夏季賞与の支給には至らなかったものの、この間の取り組みに会社が一定の理解を示し、資金繰りを含め経営環境が危機的状況にある中、特別一時金としての支給等について議論し、これ以上の前進は困難であると判断し、6月21日17時30分に妥結した。

(JR四国労組自動車支部ニュースNo. 14、16参照)

## ANAエアサービスマン松山労組と「意見交換会」を開催!

6月7日、愛媛県の松山空港において、航空連合に加盟するANAエアサービスマン松山労組(組合員数約160名)と「安全・サービスマンの取り組み」について意見交換会を開催し、JR四国労組からは森安副委員長と4名の愛媛支部組合員が参加した。ANAエアサービスマン松山は四国で唯一のANAグループ企業として空港地上支援業務を行っている。約200名の従業員が従事している。

おける貨物の搭降載や航空機のプッシュバックなどのグラウンドハンドリング業務、カウンターでの搭乗手続きやゲートでの搭乗案内及びラウンジ運営などの旅客サービス業務、貨物の引き受けや計量などを行う貨物取扱業務を見学した。到着便から次の出発便まで50分弱の限られた時間で多岐にわたる一連の工程を完了しなければならぬのは鉄道と性質が似ている一方、空港設備の管理は会社ではなく国(航空局)が行うのは鉄道と異なること

などを学ぶことができた。その後の意見交換では、コロナ禍における課題としてマスク着用を拒否する旅客への対応や業務量減少に伴い人事運用に苦慮しているという意見や、ポストコロナを見据え鉄道と航空が旅客を奪い合うのではなく共存すべきという建設的な提案、組合活動が制約される中で気軽に参加できるレクレーションの工夫など、様々な話題について意見を交わした。

今回の意見交換会を通じて組合員が相互に理解を深めるとともに、「JR連合ビジョン」が掲げる「社会・地域とのつながりや支え合いの輪を広げる」という労働組合ならではの取り組みの重要性を改めて認識することになった。今後多くの組合員が組織の枠を越えて交流できる機会を設けていくこととしたい。



## 第10回・第11回 本部執行委員会開催

### 第10回執行委員会

第10回執行委員会は、6月11日(金)13時30分より本部1階会議室で開催された。

経過報告と議事については次のとおり。

- ・組織の強化・拡大(経営協議会)
- ・安全・事故防止、2021年度諸施策(JR四国)
- ・2021年度夏季賞与(ジェイアール四国バス)
- ・エリア連合代表者会議
- ・グループ労組連絡会拡大幹事会
- ・グループ労組安全ディスカッション
- ・「男女平等月間」の取り組み
- ・3産別要請行動の取り

- ①衆議院議員選挙及び観音寺市議会議員選挙における推薦候補者の承認について
- ②2020年度決算における剰余金の処理について
- ③2021年度財政方針について
- ④第40回定期大会(議案書(案)について)
- ⑤役割分担について
- ⑥細部の取り扱いについて
- ⑦諸規則の一部改正(案)について
- ⑧安全・事故防止に関する付議について
- ⑨ダイヤ改正実施後の経営協議会の付議について
- ⑩総合労働協約改訂に関する要求項目の集約について



第11回執行委員会は、7月9日(金)第40回定期大会開催前の9時より「JRホテルクレメント高松」で開催された。

- ・乗務員共済運営委員会(JR連合)
- ・第31回定期大会

- ①衆議院議員選挙における推薦候補者の承認について
- ②2021年度夏季賞与の妥結承認について
- ③第40回定期大会について
- ④その他

## 議員団会議総会開催

7月2日(金)16時より本部1階会議室において、JR四国労組議員団会議第30回総会が開催された。

冒頭、山本悟史団長(香川県議会)から挨拶を受けた。後議事に入った。

議事では、新規会員として大野辰哉高知県議会議員の加入を承認するとともに、この間の経過報告、会計報告、会計監査報告が確認されるとともに、今年度の取り組みについて説明があり、活発な議論が展開された。

JR四国労組は今後も議員団会議との連携を密にし、様々な政策課題の解決に向けて取り組んでいくこととする。

なお、役員改選により選出された役員は次のとおり。

副団長 橋本 敏男 (高知県議会)  
幹事長 江淵土佐生 (土佐市議会)  
幹事 大野 辰哉 (高知県議会)

新役員体制  
団長 山本 悟史 (香川県議会)



## ユニオンスクール「ユニオンズコース」開催

6月23日(水)13時30分より香川県高松市「サンポートホール高松会議室」において、入社6年以上の青年女性組合員を対象としたユニオンスクール「ユニオンズ」を15名参加のもと開催した。

このスクールは「フレッシュマンコース」と同様、青年女性組合員がJR四国労組運動への理解を深めることを目的として開催している。四国各地から集まった受講生は「労働組合の基本」「JR四国労組の取り組み」等についての講義に熱心に耳を傾け、基礎知識を学びレベルアップを図った。

7月9日(金)第40回定期大会開催前の9時より「JRホテルクレメント高松」で開催された。



- ・安全推進委員会(業務)
- ・ユニオンスクール「ユニオンズコース」(政治)
- ・JR四国労組議員団会議第30回総会(共闘)
- ・交通労協第26回交通運輸政策研究会
- ・交通労協地方代表者会議

